

天王寺区区政会議（区政有識者会議・区政戦略会議 合同会議）について

平成 24 年 11 月 29 日（木）19 時から天王寺区役所 3 階 講堂におきまして、天王寺区
区政会議（区政有識者会議・区政戦略会議 合同会議）を開催しました。

次第

- 1 開会
- 2 区長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 議題
 - (1) 合同会議の運営について
 - (2) 平成 24 年度天王寺区運営方針の中間評価等について
 - (3) 天王寺区将来ビジョン（素案）について
 - (4) 平成 25 年度天王寺区運営方針（素案）について
- 5 閉会

議事概要

1 合同会議の運営について

区政有識者会議の議長には中野委員が、区政戦略会議の議長には田中英俊委員が互選により選出され、合同会議の共同議長として会議の進行をお願いした。

○委員より次のような意見があった。

- ・合同会議を開催する前に、まずは全委員で顔合わせをし、自己紹介をして、それぞれをよく知ることから始めて、そのうえで議論内容を有識者会議、戦略会議それぞれの会議で議論し、意見を持ち寄り、合同会議に臨むべきだ。

○区役所からは次のような回答を行った。

- ・戦略会議として、会議を月に 1 回のペースで開催したいとの意向があり、10 月に開催したが、有識者会議も定例での会議を希望されれば開催したい。

2 区役所からの資料説明等

- ・平成 24 年度 第 2 回区民モニター調査結果（平成 23 年度 天王寺区事業評価）
- ・平成 24 年度天王寺区運営方針 中間実績・評価について

3 意見交換

○委員より次のような意見があった。

- ・区民モニターで事業を評価してもらう際には、その事業に経費がいくらかかっているのか、という点も明らかにしてアンケートするべきだ。

○区役所からは次のような回答を行いました。

- ・かかった経費も明示するよう、取り組んでいるところであり、開示できるようにしていきたい。

4 区役所からの資料説明等

- ・天王寺区将来ビジョン（素案）について
- ・平成 25 年度天王寺区運営方針（素案）について

5 意見交換

○委員より次のような意見があった。

- 1・議論する時間を長く取れるよう、説明の時間を短縮してもらいたい。
- 2・公立塾の設置について、果たして必要なのか疑問。所得で対象を限定するなどせず、意欲があれば学校で十分に教育を受けることができるよう、教育システムを充実させるべき。
- 3・将来ビジョンの内容が二重行政、三重行政で無いことを確認したい。
- 4・公立塾について、行政がする事業と民間がする事業とのボーダーラインが非常に難しい。行政が事業を進めることで民業を圧迫してしまうリスクはないか
- 5・地域の顔が見えないと思う。長年地域に住んでいる人間から見ると、最近引っ越しされてきた人の顔が見えないと思うので、行政が引っ張ってくれるなど、できないか
- 6・防災など、地域での活動に参加している多くが 60 歳以上であり、難しいとは思いますが 40 代などが地域活動に参加してもらえればよい、と思う。
- 7・災害対策として家具固定ワークショップを開催しても、参加する人は決まっていて、他の人は関心が無く、来ないサイレント・マジョリティを取り込もうとすれば、区役所が動き回るのではなく、地域・町会に落とし込んでいく必要がある。
- 8・ビジョンの中の取組で目標に近づけるには、地域の連合会長会長などとの信頼関係ではないかと思う。
- 9・ビジョンには掲載されていないが、警察の前の道路を早期に整備すべき。また固定資産税・都市計画税を財源とした施策展開についてもビジョンに掲載すべき
- 10・ビジョンの区の将来像について、4 項目ありますが、そのうえにもう 1 つ、一言で方向性をあらわすような標語が必要ではないか

- 11・内容にわからないカタカナが多すぎるので、もう少し説明をつけるか、わかりやすい言葉にした方が良いのではないか
- 12・真田山連合で災害時避難訓練をした際に、真田山小学校で訓練をしたが、近くに他の避難所となる学校があるのに、連合の端から真田山小学校まで訓練に来ないといけないし行けなかった。

○区役所からは次のような回答を行いました。

- 1・説明については、資料を事前にお配りすることで、次回から説明の時間を大幅に削減させていただきたい。
- 2・公立塾については、子育てにかかる費用が親にとって大きな負担となっており、これを緩和することで子育て支援をより強固にできないか、と考えた。
- 3・大阪市でも広域で考えるべきことは広域行政で、安心安全にかかる基礎自治にかかることは区で行っていくこととしている。区分けを明確化して、今後のかじとりもしていきたい。地域の実情を把握しやすいのは、局ではなく区民に一番近い区役所であることから、広域行政で行う内容については、区役所から地域の実情を踏まえ意見具申をしていきたい。
- 4・公立塾について、大学進学率が世帯所得による格差がかなり影響している声や社会学等の実証研究もあり、大学進学を考えると学校の授業では足りずに進学塾に通う必要があるのも事実。たたき台としては賛否両論ある言葉ではあると思う。
- 56・長く地域にお住まいの方と、近年マンションに引っ越してこられた方との交流を図るため、両者にとって魅力的な施策事業をすべきと考えている。ビジョンの中で、「関心を持って来てもらえる防災イベント」としており、防災というイベントに対する敷居を低くし、若い世代にも関心を持ってもらい、新住民と昔からの住民との接点となるよう、盛り込んでいきたい。
- 78・全ての施策事業についても共通に言えるが、町会もそうだし、福祉であれば社会福祉協議会など、各団体との連携・信頼関係、これが無くては何もならないと思う。区役所と地域との日頃からの連携、これが重要と考えている。
- 9・道路整備については滞ることの無いよう、局との交渉・調整が必要だと認識しており、地元の意向を反映していただけるよう局への意見具申を行う。徴税に関する権限は区にない状況なので、施策事業に必要な資金の捻出については、ふるさと納税を強化してインターネットを活用したクラウドファンディングや、施設管理費の経費を削減することにより、自主財源の確保に努めたい。
- 10・概念のようなものを一言で言えた方が良くと思うので、皆さんのお知恵を賜りながら考えたい。
- 11・策定までには、ご指摘を踏まえながら練り直したい。
- 12・真田山地域も広いので、今回は真田山小学校での訓練でしたが、次は真田山地域の

他の学校での訓練となるよう、ご指摘も踏まえて取り組んできたい。